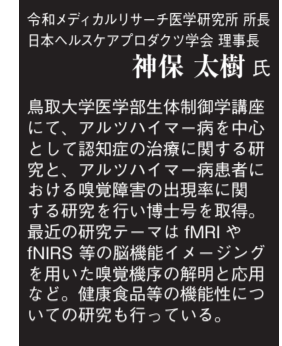


岡田―それは神保先生も同じでしょう。費用を抑えるためにプロトコルから実施まで先生がオールインワン体制で取り組ん



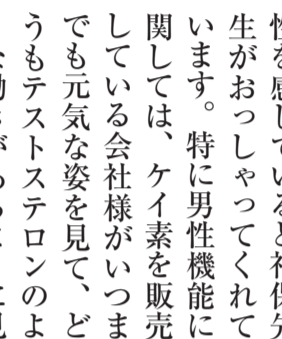
臨床試験で血圧改善作用を確認

―今回の機能性表示食品に向けた臨床試験も神保先生に依頼されたのですね



神保太樹氏

神保―機能性表示食品のエビデンスを取りたいと聞いた時、やはり岡田社長は凄いなと。また費用の話になります。機能性表示食品として実装するには健康な人を対象にするには健康な人を対象に何装もの強い臨床試験を実施しなければなりません。それにはかつての臨床試験以上の費用がかかります。それを社長は英断するのですから、たいした方です。



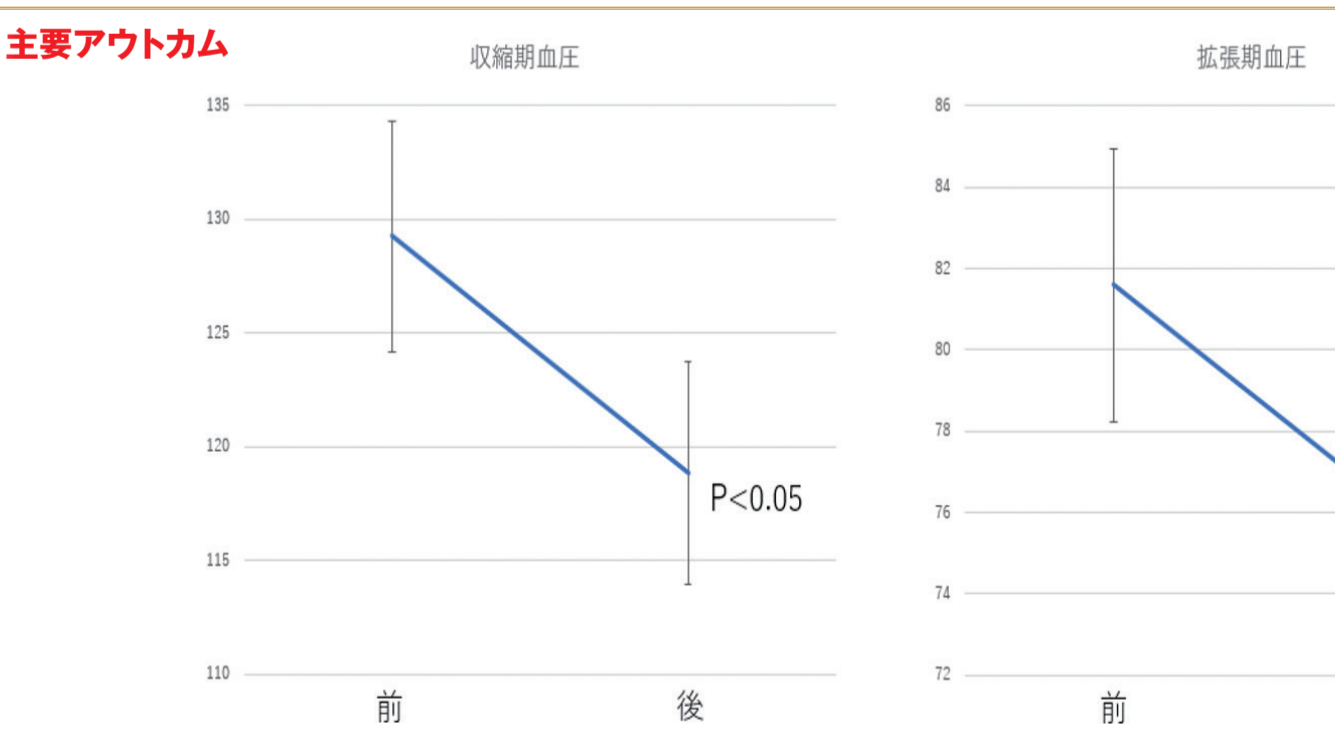
神保太樹氏

水溶性ケイ素による血圧改善作用の期待 (論文) 概要

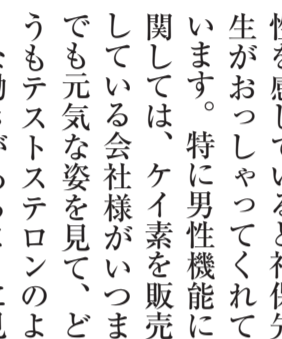
本研究では、ストレスを反映する唾液中コルチゾールの計測、疲労感についてのアンケート、睡眠の質のアンケート、自律神経分析などを行った。念のため血液検査も実施して安全性も再検討した。

方法 健康成人12例(平均年齢41.08±1.73歳)について、水溶性珪素umo濃縮溶液(株式会社APAコーポレーション提供)を摂取させその前後の変化を計測しました。

- I 医師による問診およびアンケート等による調査
1) 氏名、性別、年齢、身長、体重、血圧、体温、試験食摂取の有無、睡眠時間、既往歴、常備薬、喫煙の有無、飲酒の有無食事等などの基礎的な問診
2) Visual Analog Scale(VAS)
疲労感の自覚調査を調査するためのアンケートとしてVAS尺度を実施した。
3) ホームズのストレス反応尺度
ストレスについての自覚症状を調査するためのアンケートとしてホームズのスト



結語：水溶性ケイ素の摂取は血圧の減少およびストレスの緩和作用に繋がる可能性がある。



神保太樹氏

の研究によれば、肝臓の脂肪や自立神経、男性機能や育毛などにも可能性を感じていてと神保先生がおっしゃって来ています。特に男性機能に関しては、ケイ素を販売している会社様がいままで元気をなさる姿を見て、どうもテストステロンのような働きがあるように見受けられます。テストステロンはアンチエイジングホルモンでもありますから、サプリメントだけでなく化粧品への応用なども考えています。これからは、神保先生とは二人三脚で取り組み、人類の健康に貢献していきたい。引き続き、どうぞよろしくお願ひします。

II 唾液中ストレス物質の計測
専用計測キット(SOMA Bioscience社製SOMA CUBE)を用いて計測を実施しました。付属の唾液採取用綿棒を用いて、少量の唾液を採取しました。採取した唾液内のコルチゾールについて、専用の計測用溶液に溶解し、その後、計測用チップ上に滴下した上で、光学的にコルチゾールおよびsIgAの含有量を計測しました。

III 血液検査の結果
血液採取によるデータとして以下について検討しました。具体的には、総蛋白、ALP、AST、LDH、γ-GTP、総ビリルビン、LDL、コレステロール、HDL、中性脂肪、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、尿酸窒素、クレアチニン、GFR、血糖、アルブミン、HbA1c、赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、MCV、MCHの値について分析しました。

IV 加速度脈波計測
YKC社製TAS9VIEWにより、加速度脈波計測による自律神経バランス分析および血管年齢の推定を行いました。



APAコーポレーション 代表取締役 岡田 憲己氏 令和メディカルリサーチ医学研究所 所長 神保 太樹氏

―ケイ素素材の国内シェア9割を占めており、20年以上の実績を持つ貴社があらためて機能性表示食品にこだわった理由は？

神保―企業家の良心という点で、岡田社長には頭が下がります。ケイ素に関してここまで臨床試験を深めているメーカーさんは他にいません。初めて社長からヒト試験の依頼を受けた時は、ほとんど前例が無く、従って文献も論文も無く苦労しま

「水溶性ケイ素ウモ」は完全にゼロからのスタート。その分、費用も時間もかかります。民間企業としてコスバもタイパもハードルが高かったのでは？

岡田―信頼と安全性の確認において、コスバもタイパも無いですから。弊社がケイ素を健康食品の原料として研究開発をさせた頃は、まだまだケイ素の健康効果は未知の領域でした。そこで原料として市場に出すために注力したのが安全性機能性の臨床試験でした。当時から幾つかの大学と産学連携で、臨床試験を含む様々なエビデンスを今日まで積み重ねてきました。その時に愛知医科大学でお世話になったのが神保先生でした。弊社の機能性表示食品に向けたヒト試験を始めたのは昨年の7月からでしたが、その半年後に紅麹問題がおきました。小林製薬の問題は決して人ごとではありません。ケイ素は様々な機能性を持つ素材の一方で鉱物由来や植物由来、シリカ水など全てのケイ素シリカ商品において腎機能低下のリスクがある危険な一面も実はあります。ケイ素には結晶質ケイ素と非晶質ケイ素があり全てのケイ素商品が必須です。弊社では非晶質のエビデンス取得とさらに腎機能への安全性試験も行いウモには腎機能低下どころか腎機能を強化することがわかったのです。

APAコーポレーション 水溶性ケイ素「ウモ」 機能性表示食品の臨床試験スタート

水溶性ケイ素原料のパイオニア「APAコーポレーション」(本社は愛知県)はこのほど同社の水溶性ケイ素「umo(ウモ)」の機能性表示食品に向けた臨床試験をはじめた。そこで試験を行っている令和メディカルリサーチ医学研究所の神保太樹所長とAPAコーポレーションの岡田憲己社長に進捗と今後の展望を伺った。(文中敬省略)

ヒト試験完了 ハラル認証取得 原料シェア90%

水溶性珪素特別講演会申し込み受付中! 日時: 2024年9月28日(土) 13:00~15:00 会場: TKP品川カンファレンスセンター 東京港区高輪3-25-23 京急第2ビル7F 会費: 10,000円/名 ※定員80名 講演内容: 『そのシリカ安全ですか? 非晶質の重要性とケイ素の抗糖化作用』 富山県立大学 准教授 工学博士 立田 真文 『世界に誇る日本のケイ素品質、生体により機能する水溶性珪素umo』 株式会社APAコーポレーション 代表取締役 岡田 憲己 お申し込みはQRコードもしくは下記へお問合せください!

株式会社APAコーポレーション https://www.apa-corp.jp 本社 愛知県西尾市丁田町落35-3 TEL:0563-65-0033